

市政を問う!!

質問者 一般質問の要旨

- 五味東條
- 中原巳年男
- 鈴木明子
- 柴田博
- 小野光明
- 今井英雄
- 中村努
- 山口恵子
- 石井新吾
- 牧野直樹
- 古厩圭吾
- 青柳充茂
- 永田公由

※本文は質問者自身の原稿によるものです



◆最終処分場計画

問 東山区の民間所有地に埋め立て面積1万6千㎡、埋め立て容量24万㎡の管理型最終処分場の計画について、県条例に基づいて業者が住民に事業計画概要説明会を開催しているが、塩尻市全体として考えていかなければならない問題だと思いがどうか。(五味)

答 市としては関係地区の意見を集約する中で、必要ならば関係地域を広げての説明会を事業者に求めていく。

問 下水道はみどり湖団地の下水道管に接続すると聞いているが、大雨の場合には住宅への影響は大丈夫か。(五味)

答 排出される排水量が既設



安全な環境を維持するため市全体としての研究を



塩尻東地区のホタル保護地

管の能力をオーバーしないよう、調整指導をしていく。

問 排水は水質基準値以下になるまで、業者が責任もって処理することか。(五味)

答 業者により設置された処理施設で水質が排水基準に適合した排水でないと、公共下水道へは受け入れしない。

問 もしも、合意形成が得られなかった場合、市の対応についてはどうか。(五味)

答 事業者には関係住民の環境問題への不安感、不信任感に対し、事業者としての説明責任を果たすよう強く求める。

問 ホタルの保護は。(五味)

答 市の天然記念物指定については継続審査していく。

◆産廃解体施設塩尻市への集中の恐れ

問 県の新条例適用後の施設申請の状況は。(古厩)

答 県全体で12件中、市内には4件で既存は13件ある。県

へは適正な事業者指導をお願いしている。

◆堅石・岩垂地籍への進出計画の対応は地元の意向尊重

問 地形的に環境汚染の危険が大で、立地を認めるべきではない。市民に最も近い自治体である市は、どのように対応するか。(古厩)

答 (株)クリーンカーライフが車の処理施設を計画している。計画概要説明会を松本市今区を含む3区で実施した所、今後事業計画書が提出され、関係住民への説明会が開催される。何回も意見交換を繰り返す手続きが決められており、市は地元の意向を尊重し、その都度事業者や県に意見を述べてゆく。



自動車の処理施設が計画されている
堅石・岩垂地籍